

東京文化会館 公演情報

1-3

2016
WINTER



interview & report

水野優也/鈴木一成/清水勇磨 ... 2-3

白井剛/中川賢一/堀井哲史 ... 4-5

たいらじょう/宮田大 6-7

ミュージック・

ワークショップ・フェスタ 8-9

荘村清志 10

東京文化会館主催公演 11-12

column

プロセニアムのスター達 13

公演情報 1月~3月 14-19

音楽資料室より 20

都響ニュース vol.38 21

会館からのお知らせ 22

interview 01

第13回東京音楽コンクール 優勝者コンサート

水野優也(チェロ) / 鈴木一成(ファゴット) / 清水勇磨(バリトン)

第13回東京音楽コンクールの第2次予選と本選が8月21日から30日に行われ、弦楽・木管・声楽の各部門で優勝者が決まりました。優勝者コンサートに向けての意気込みを伺いました。

取材・文 / 編集部 写真 / 青柳聡



—チェロを始めたきっかけを教えてください。

音楽をやっていた母がチェロの音が好きで、サン＝サーンスの「白鳥」を弾いて欲しいという願いがあり、近所の音楽教室で習い始めたのがきっかけです。

—東京音楽コンクールに応募した理由は？

東京音楽コンクールを受けたのは今回が初めてでしたが、

このコンクールのことは知っていて、4年間聴きにきていました。本選でプロのフルオーケストラと共演できることと、コンクール後のサポートが手厚いのがとても魅力的だとずっと思っていました。

—東京文化会館大ホール、小ホールの印象は？

大小ホール共に初めてでした。小ホールは洞窟、自然の空間で弾いているような感じがしました。緊張していましたが、すごく気持ちよく弾けたという印象です。大ホールは、舞台から見ると意外とコンパクトに感じましたが、上を見ると、小ホールとは違ってすごく大きな空間でした。ここでオーケストラと一緒に大きな音楽をつくることができ嬉しかったです。

—憧れの演奏家は？

同門の大先輩である宮田大さん。ジャン＝ギアン・ケラス。とても憧れています。

—今後、どのような音楽家になりたいですか。

演奏して人生を過ごす、それが理想的ですね。自分の演奏を聞いていただいて、感動してもらえるような演奏家になれば、それが一番かなと思います。

—東京音楽コンクールに応募した理由は？

今回初めて受けました。ファゴットが参加できるコンクールが少なく、ぜひ挑戦したいとずっと思っていました。また、本選のオーケストラが、以前契約団員だった新日本フィルで、本選でまた皆さんにお会いできたらいいなと思って、今回、受けよう決めました。

—東京文化会館大ホール、小ホールの印象は？

大ホールは都響の公演に参加しました。小ホールは初めてでしたが、舞台裏で待っているときのステージからの音の聴こえ方が怖い印象がありました。大ホールは案外自分の音が聞こえたなということだけを覚えています。

—憧れの演奏家は？

学生時代からお世話になっている先生方、特に都響の岡本正之先生、そして新日本フィルの河村幹子さんには特に強い影響を受けました。違う楽器ですとオーボエのハインツ・ホリガーです。

—今後、どのような音楽家になりたいですか。

私は、初めから決め過ぎて、どれも中途半端になるのが嫌なので、目標の一つ達成したら次の目標の一つ作るようにしています。次の目標は留学することですね。



—ファゴットを始めたきっかけを教えてください。

幼稚園の時にエレクトーンを1年間習いました。中学校の吹奏楽部でユーフォニアムをやっていたのですが、高校ではファゴットを選びました。はじめはリベアマンを目指していましたが、演奏家になろうと思ったのは大学2年生ぐらいですね。



—声楽を始めたきっかけを教えてください。

中学校で合唱部に入りました。高校受験の3ヶ月前に音大附属高校への進学を勧められ、急いで準備を始めました。ピアノもその時に練習を始めましたが、今考えると恐ろしいですね。

—東京音楽コンクールに応募した理由は？

様々な演奏家が舞台上に立ってきた東京文化会館で、自分も

歌いたいと思いました。今回が4回目の挑戦で、去年は入選でしたが、本選後に審査員の先生方から色々お話を聞いたことが貴重な収穫となりました。入賞後、東京文化会館で再び演奏できることは大きな魅力でした。

—東京文化会館大ホール、小ホールの印象は？

昨年の本選は東京芸術劇場だったので、大ホールで歌ったのはこれが初めてです。とても歌いやすいホールでした。小ホールは、響きのコントロールが難しく、いつもどおりやるということがすごく試される印象です。

—憧れの演奏家は？

ビエロ・カブッチリですね。彼のようなロングトーンでメリハリがある歌唱は凄まじいですよね。彼の生き方を見ていると素晴らしいと思います。

—今後、どのような音楽家になりたいですか。

技術を進化させていくことも大切ですが、人間の根源を注視したいと思います。オペラを演じることは、その人間の人生を全うするという事なので、日々感じる小さな感動にも新鮮かつ敏感な音楽家でありたいです。

第13回東京音楽コンクール審査結果

	弦楽部門	木管部門	声楽部門
第1位	水野優也(チェロ)	鈴木一成(ファゴット)	清水勇磨(バリトン)
第2位	藤原秀章(チェロ)	副田真之介(オーボエ)	迫田美帆(ソプラノ)
第3位	白井菜々子(コントラバス)	柿沼麻美(ファゴット)	村松稔之(カウンターテナー)
入選(演奏順)	石原悠企(ヴァイオリン) 森朱理(ヴィオラ) 野見山玲奈(ヴァイオリン)	皆神陽太(ファゴット)	杉浦隆大(バリトン) 平山莉奈(メゾソプラノ)
聴衆賞	水野優也(チェロ)	副田真之介(オーボエ)	平山莉奈(メゾソプラノ)

第14回東京音楽コンクールのご案内

開催部門 ピアノ、金管(チューバを新設)、声楽 ※第15回はピアノ部門、弦楽部門、木管部門を開催します。

日程(予定) 応募受付:平成28年4月(予定)
第1次予選:6月28日~7月6日(各部門2~3日)
第2次予選:8月18・20・22日(各部門1日)
本選:8月23・25・28日(各部門1日)

会場 第1次・第2次予選:小ホール
本選:大ホール

>> 詳細は決定次第ホームページで発表します。

information!

第13回東京音楽コンクール 優勝者コンサート 大ホール

平成28年1月11日(月・祝) 14:00

<p>出演 チェロ:水野優也 *弦楽部門第1位及び聴衆賞 ファゴット:鈴木一成 *木管部門第1位 バリトン:清水勇磨 *声楽部門第1位 指揮:梅田俊明 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団 司会:朝岡聡</p>	<p>曲目 シューベルト:「ロザムンデ」序曲 シューマン:チェロ協奏曲 イ短調 op.129 フランセ:ファゴット協奏曲 ロッシニ:歌劇「セヴィリアの理髪師」より “私は街の何でも屋” プッチーニ:歌劇「妖精ヴィッリ」より “馬鹿な、そんな事があっていいのか ~私の娘の聖なる魂よ” ジヨルダーノ:歌劇「アンドレア・シェニエ」より“祖国の敵か”</p>	<p>水野優也 鈴木一成 清水勇磨</p> <p>梅田俊明 ©三浦興一 朝岡聡</p>
--	---	---

料金: 指定2,000円 ※各種割引あり

主催: 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団) / 読売新聞社 / 花王株式会社 / 東京都

協賛: あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 / 有馬温泉 有馬グランドホテル / 株式会社コンサートサービス
サントリーホールディングス株式会社 / 東京地下鉄株式会社 / 三井住友海上火災保険株式会社 / 森平舞台機構株式会社

東京文化会館 ザ・イヤーパートナー: 上野精養軒

協力: 新日本フィルハーモニー交響楽団 / 東京交響楽団 / 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 / 東京都交響楽団
東京フィルハーモニー交響楽団 / 日本フィルハーモニー交響楽団 / 読売日本交響楽団 / 東京オーケストラ事業協同組合

助成: 平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

interview 02

舞台芸術創造事業
ON-MYAKU 2016 -see/do/be tone-

白井 剛 (構成・振付・ダンス) × 中川 賢一 (音楽構成・ピアノ) × 堀井 哲史 (映像演出)

取材・文 / 齋藤あきこ (ライター)



© Yota Kataoka



© Shuhei NEZU



© Muryo Honma

その響きの素晴らしさから、クラシック奏者にとっては夢の舞台と言われる東京文化会館 小ホール。この歴史あるホールで、かつてない試みが行われる。コンテンポラリーダンスのダンサーとして高い評価を得る白井剛と、革新的なピアニスト中川賢一、そして堀井哲史(ライゾマティクス)が映像演出を手がける『ON-MYAKU 2016 -see/do/be tone-』だ。この異質な組み合わせのクリエイターたちに話を聞いた。

—まず、この公演が実現したきっかけをお聞かせください。

白井: 最初のきっかけは、東京文化会館さんのほうから、現代音楽、ダンス、映像メディアを組み合わせた公演がしたいというお話を頂いて、僕と繋がりのある中川さんと堀井さんをお誘いしたんです。

—お二人を選んだ理由は?

白井: 中川さんとはワークショップで一緒にすることがあって。その時に、中川さんが音を鳴らすと子供の動き方がものすごく変わるのにすごく驚いて、いつか一緒にしたいと思っていました。いっぽうの堀井さんは、「true/本当のこと」(2007年 山口県情報芸術センター初演)というテクノロジーを使った舞台(筋電センサーやLEDを使ったダンス公演)で一緒にして。映像だけでなく、デバイスのものにも詳しくて扱いにも優れていらっしゃるの、可能性が広がるなと思ってお誘いしました。

—一緒に活動されているなかで、今度は舞台を作ってみようということになったわけですね。中川さんは演奏会のほか、現代音楽の面白さを伝える活動をよくされていますが、現代音楽の面白さはどこにあるのでしょうか?

中川: 現代音楽の面白いところは、単純に言うと「音」です。普段聞き慣れている音とはまったく違うものがたくさん出てきます。そもそも、耳は目や口と違って閉じることができない器官ですから、意識して開放すると、今まで聴いたことのない音を聞くことができる。

—それは面白そうですね。

中川: 音楽家とは、「これが面白い」という色々な事象を形にする人間です。そういう、ある面から見た切り口の面白さを取り入れるのが現代音楽なんです。抽象画もそういうものですよ。現代音楽の場合は、混沌としたものを、音楽家のテクニックでもって配置する。それは現代人の新しい美意識の断面です。鋭いアーティストは、その美意識の断面をうまく切り取って人に伝える能力がある。それを楽しんでもらうのがいいかなと思います。それが現代音楽の面白さです。

—今回はどんなアーティストの曲を紹介するのでしょうか?

中川: 我々は12月に兵庫の「城崎国際アートセンター」にて合宿を行い、そこで作りこみを行うので、最終的なことはそこで決まらるでしょう。今回のように、音楽、美術、ビデオアート、ダンスな

ど、複合的な要素が重なる公演を作るには、忙しいみんなの都合を合わせて一気に作りこむことが大切なんです。音楽的には、東京文化会館という素晴らしいサウンドのホールでやるということを前提に考えます。

—白井さんにお聞きしたいのは、現代音楽で踊るといのはダンサーにとっていかがですか?

白井: 作曲家にもよりますが、基本的にすごく難しいです。でも鳴っているだけで、居心地がいいとか想像力が膨らむ音楽ですね。ジョン・ケージの曲で踊ることがありますが、音を通して作曲家の人柄が見える。すごく懐が深い哲学を持った方なんでしょうと踊りながら思うんです。そういう感じで、音の中に、どんな身体があっても、どんな風景が見えても、受け入れてくれるような可能性がすごく広がる音楽。また現代音楽は、CDよりも演奏を見たと良くわかりますね。演奏家の身体から発生するものや、どうしてこういう曲を作ったかという糸口を、生で観ると体感できます。

—堀井さんはエンターテインメントなコンサートやテクノイベントでのVJなどに映像を付けられることも多いですが、現代音楽との関わりは?

堀井: そうですね。僕が10年来映像制作などのために使っているソフトウェアの「Max/MSP」は現代音楽と密接な関係にあるものなんです。付属しているサンプルも、クセナキスの図形楽譜を模したようなものだったり。なのでそのソフトウェアを使って映像やインスタレーションの制作することを通じて、そういう音楽の考え方や匂いのようなものを感じています。

—ソフトウェアでどのようなものを作られるんですか?

堀井: カメラで撮影した映像をそのまま使うのではなく、プログラミングで映像を作ります。具体的には、音の解析をしてMIDIに変換したり、波形を取り出したデータを使って映像を作ったり。ダンサーさんと楽曲の関係を映像にしたり、もしくは

楽曲に映像を付ける場合は、いろいろな要素を映像にして組み合わせ、最後にいらぬ要素を省いて完成させます。それはドキュメンタリーに近いアプローチですね。いろいろなものを撮影して、そこから見えたストーリーに沿うように、余計なものを消していくという。

白井: 堀井さんの映像はすごく美しいんです。プログラミングで作られているから、理数的・数学的な、理論的なアプローチが入り口なんです、削ぎ落として行った先に有機的な部分が見えていく気がして。そういうところを見つけるっていうのが、ヴィジュアルアーティストたるところなんだと思います。

—この組み合わせ、どんな公演になるのか楽しみですね。

中川: 白井さんはお話するとすごく静かな方ですが、動き出すとすごく身体性が高く、人間ではとても無理なような、素晴らしい素敵な動きをしてくれるので、かなりレンジの広い選曲にしようと思っています。そこに、堀井さんの宇宙的な、テクノの世界の映像が広がるという。現代音楽のファンはもとより、初めて演奏会を聴きに來る、東京文化会館に足を運ぶ、あとは特に音楽をそんなに聞かない方にも楽しめるような選曲をしたいと思っています。

堀井: 僕はリアルタイムでMIDIや鍵盤のデータとか、何かしらの信号を拾って、白井さんにセンサーを付けて、その踊りと組み合わせ、それに反応して、その場で映像を生成するというものを予定しています。

白井: タイトルの『ON-MYAKU 2016 -see/do/be tone-』は「音が見える身体」というテーマを表しています。観客の方たちが、音というものを、演奏家の身体やダンサーの身体、さらに映像を通して見るができるというもの。「音脈」はこの冊子のタイトルですが(笑)、空気の振動である音と、光の振動である映像、そこに身体的な鼓動や呼吸とか動きの脈動の組み合わせということによってぴったりだったんです。もちろん音楽とダンスと映像、どのジャンルのファンの方が観ても見やすく聴きやすい、でもそれだけではつまらないので、あるところでは攻める、という公演にしたいと思っています。

information!



舞台芸術創造事業 ON-MYAKU 2016 -see/do/be tone-

小ホール

平成28年 1月30日(土) 19:00、31日(日) 15:00 ※30日の終演後、アーティストによるアフタートークを行います。

構成・振付・ダンス 白井 剛
音楽構成・ピアノ 中川 賢一
映像演出 堀井 哲史(ライゾマティクス)

スタッフ 音響: 石丸 耕一(東京芸術劇場)
照明: 吉本有輝子(真昼)
舞台監督: 大久保 歩(クワット)
衣裳: るう(rocca works)
ハードウェア: 原田克彦(ライゾマティクス)
宣伝美術: 藤井かおり(ライゾマティクス)

◎公式サイト
<http://on-myaku.com/>
◎Facebookページ
<http://www.facebook.com/onmyaku2016/>

料 金: S席4,500円 A席3,500円 ※各種割引あり
主 催: 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
特別協力: 株式会社ライゾマティクス
協 力: アークベル株式会社/株式会社ヤマハミュージックジャパン/東京芸術劇場

制作協力: 一般社団法人ハイウッド
東京文化会館ザ・イヤーパートナー: 上野精養軒
助 成: 平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
本公演は、2015年度城崎国際アートセンターレジデンス公募プログラムに採用されています。

interview 03

舞台芸術創造事業

たいらじょう×宮田大「Hamlet」

たいらじょう (脚本・演出・美術・人形操演) × 宮田大 (音楽構成・チェロ)

取材・文／小田島久恵 写真／梶山かつみ



人形劇俳優たいらじょうとチェリスト宮田大が、シェイクスピアの名作に挑む。脚本・演出・美術・人形操演をたったひとりでこなすたいらが、2014年3月に上演された『ギリシア悲劇 王女メディアの物語』に続き、シリーズ第二弾に選んだのは、シェイクスピアの三大悲劇『ハムレット』。前作では8人の古楽ミュージシャンとともに演劇とクラシックの斬新なコラボレーションを実現したが、今作ではたった一人の演奏家によるオール無伴奏での上演を構想。その相手役に「彼以外に考えられない」と指名されたのが、若手チェリストの中でも躍進めざましい宮田だった。宮田は演奏だけでなく音楽構成も担当し、唯一無二の「共作」を作り上げていく。無限大の可能性に満ちた創造の船出をスタートさせた二人に、意気込みを訊いた。

—お二人がお互いを知ることになったきっかけは？

たいら: 2013年に宮田さんの演奏を初めて聴いたんです。衝撃が走るほど素晴らしかった。すごく彼の息遣いが伝わってきて、色気があって、全身全霊で弾いている感じでした。

宮田: たいらさんを大学時代から知っていたんですよ。音楽をやっている友達がたいらさんの『毛皮のマリー』に誘ってくれて…そのときのアンケートに『チェロをやっているんですけど、いつか一緒にやりたいです』って書いたのを覚えています。

たいら: そう！相思相愛からスタートしているんです(笑)。

—お互い引き寄せ合ったわけですね。今回の音楽をすべて無伴奏にした理由は？

たいら: 私が頑なに無伴奏でやりたいと主張しました。ハムレットが自問自答して『陰』の世界に入り込んでいく感じを出したかった。伴奏が入ったらそれはそれで素敵だと思うんですよ。でも、今回は二人の呼吸だけで作っていくことにトライしたいなと。

宮田: 有難いことにハムレットは暗い話で、チェロはどちらかというと無伴奏でやる曲にあまり明るい曲がないので、その点では結構、選曲はしやすかったですね。

たいら: パーフェクトな台本はまだですが、作品のプロットは出来ているので「こういう音楽が欲しい」ということをイメージで伝えて、大さんに頼っています。オーダーを長々と文章で書いたんです。「ここはこういう気持ちで、絶望的だけどひと筋の光を感じていて、哀しみをただ辿るだけではなく受け入れている感じ」とか。そうすると大さんが『こんな曲どうかな』と曲を聞かせてくれるんです。

—ハイライトはどのあたりになるでしょうか？

たいら: サプライズです(笑)。言ってしまうと、一幕のラストは身震いの連続だと思います。

宮田: ハムレットの感情がすごく高まっていくところと、演奏が高まっていくところを何か所か作っているの、それぞれ見せどころ・聞かせどころがあります。一幕のラストもそうですね。

—なるほど、『王女メディア』の次に『ハムレット』を選んだのは、そもそもどうしてだったのでしょうか？

たいら: 『ハムレット』というのは、演劇をする人間なら誰でも憧れる…誰もが一度は通りたい道なんです。私は演出家で

もあり、俳優でもあるので、幼いころから『ハムレット』をやりたいかった。やっとなりが熟した感じですね。20代の私では無理でした。30代になったからようやく出来る…それでも、ファンが多い作品だけに、脚本にはとても苦労しています。すべて私の新たな翻訳で作っていますが、日本一分かりやすい『ハムレット』を目指しています。

—宮田さんは普段コンサートで演奏されているときも、一人芝居を演じている感覚はありますか？

宮田: ほとんどそうかも知れませんが。器楽演奏という、書いてある楽譜をただ再現しているように見えるかも知れませんが、じょうさんが一人で言葉を発しているのと同じように、音を言葉にして伝えているのだと思います。「音を出す」ではなく、「言葉を語る」感じですね。そう捉えれば、ハーモニーがなくても、メロディがあれば成立しますから。そういうことを考えると、無伴奏でやるのはありかなと思います。

たいら: 一音を伸ばしているだけでも、精神的な緊張を表現できるわけで、メロディ以外の効果音のようなものも、提案してもらっています。今の段階でこれだけしっかりと音楽のイメージが出来上がっているのは心強いです。

宮田: これだけ無伴奏を弾くのは初めてですし、大きな挑戦なのでしっかりやりたいです。

たいら: ファンの方から聞いたんですが、大さんは無伴奏だけのリサイタルをやられたことがないんです。

—そうだったんですか！

宮田: 無伴奏のリサイタルは年を取ってからやりたいと思っていました。2013年に大学を卒業したばかりで、まだやらなければならない曲もあるので、無伴奏は先にとっておく予定でした(笑)。

たいら: 大さんのファンにとってはサプライズですね。

—老後の楽しみ(?)が早まってしまったのですね(笑)。今日の撮影には、ハムレットの人形も持ってきていただきました。

たいら: 主要なキャストは白とグレーで表し、観客のイメージで色彩を感じていただきたいと思っています。演出的なところで、死をどう表現するかすごく迷いました。『ハムレット』は中盤にも人がかなり死にますが、後半はさらに死というものが中心的なテーマになっていく。『人形が動かなくなりました、ハイ死にました』だけじゃ、演出的アプローチとして満足出来なくなってしまって、どうやって美術的に死というものを表現できるか想像力を働かせたかったんです。…ま、これ以上お話するのは遠慮しておきましょう(笑)。本番の舞台を楽しみにしててください。

—どうしたら、そんな風にアイデアが浮かんでくるのか…魔法のようです！

たいら: アイデアはいくらでも出てきますが、どれにするかが大変です。大さんにも音でハムレットを演じてもらうシーンが出てくると。『王女メディア』でも、長尺の台詞を音楽で語ってもらう場面を作りましたが、『ハムレット』でもあります。舞台には二人役者がいるような感覚ですね。

宮田: リサイタルでは、弾いている姿を見られている、という感覚がほとんどないので新しい経験です。言葉を音楽で表現するという点に関しても、自分がどれだけボキャブラリーの引き出しを持っているかが出ると。『死』というテーマはすごく深いですし、これから突き詰めていくことになりそうです。

—東京文化会館の小ホールという空間は？

宮田: 僕は何度か演奏させていただいています。客席との距離が近いのがいいですね。

たいら: 僕はまだ初心者ですけど(笑)。扇形の広がりがあるような一体感を醸し出して、箱全体でひとつの演目を作っている雰囲気がいいですね。この『ハムレット』にもまだまだ宿題がたくさん待っているわけだけど、来年の2月に成功させたら、宮田さんと全世界を旅して上演したいです。二人の命ある限り(笑)、共演していけるレパートリーになったらいいですね。

information!



舞台芸術創造事業 たいらじょう×宮田大「Hamlet」

ハムレット

小ホール

平成28年2月27日(土) 15:00

原作 シェイクスピア
脚本・演出・美術・人形操演 たいらじょう
音楽構成・チェロ 宮田大
曲目 J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲より
コダーイ:無伴奏チェロ・ソナタより
ヴィヴァルディ:チェロ・ソナタ イ短調 RV43より
他、様々な作曲家の作品から選曲

スタッフ 黒衣:牛頭奈織美、新井彰冬実、稲倉ちひろ、
松本裕古、渡辺健太郎
編曲:小林幸太郎
照明:中村浩実
舞台監督:菅原多敢弘(ザ・スタッフ)
演出助手:伊奈山明子
音響:森 崇晃



たいらじょう



宮田大

©Shunji Kamenura

料金: S席5,800円 A席3,800円 B席2,000円(予定枚数終了)
※各種割引あり

主催: 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

協力: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京文化会館ザ・イヤーパートナー: 上野精養軒
助成: 平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

report 01
Music Program TOKYO
ミュージック・ワークショップ・フェスタ

取材・文／飯尾洋一(音楽ライター) 写真／Mino Inoue, 青柳聡



タネまき、タネまき、大きくなあれ

リズムカル・キッチン

タ・タ・パ・トゥ・エラ vol.2

タ・タ・パ・トゥ・エラ vol.2

東京文化会館ではポルトガルの音楽施設「カーザ・ダムジカ」と連携して、創造性や協調性を育むための多彩な音楽ワークショップを開催している。10月22日から25日まで開催された「ミュージック・ワークショップ・フェスタ」から、さまざまな年齢を対象とした3つのプログラムを二日間にわたって取材した。

まず見学したのは、3歳から4歳を対象としたワークショップ「タネまき、タネまき、大きくなあれ」(10月24日・東京芸術劇場リハーサルルーム M1)。こちらは東京文化会館が制作するオリジナル・ワークショップで、ネズミの「シロコ」とネコの「トラ」のふたりのキャラクターが登場し、子供たちといっしょに種まきや水やりをして、育ったジャガイモを収穫するというストーリー仕立てになっている。ピアノ、ヴァイオリン、アコーディオンに加えて三線や箏といった和楽器も加わり、子供たちが歌をうたった

り、水やりのダンスをするなど、体を動かしながら音楽の楽しさを体験できる内容になっていた。

この年代の幼児は興味のあるものには敏感に反応する一方で、つまらないと思えばまるっきり関心を示さなかったりするもの。はたしてどれくらい子供たちの関心を引きつけられるものかと思っていたが、ワークショップが始まるとたちまち子供たちが「シロコ」と「トラ」のストーリーに引き込まれていったのが印象的だった。母親あるいは父親がともに参加しているという安心感も後押ししてか、子供たちは音楽やダンスに夢中になっていた。

当日は続いて「リズムカル・キッチン」へ(10月24日・東京文化会館リハーサル室 A)。こちらはさまざまなキッチン用品をリズム楽器に見立てて、音とリズムの料理を作るという趣向のワークショップ。同等の内容で、小学生以上を対象にした回と、中学生以上を対象にした回があり、

筆者が参加したのは後者の回。音楽ワークショップといえば子供向けの印象が強いが、こちらはむしろ大人たちが大勢参加しており、幼児向けとはまた違った落ち着いた雰囲気生まれていた。リーダーのリズム・パターンを模倣しながら食器を隣の人に受け渡すといった遊戯性もあり、言ってみれば身体を使った「音ゲー」「リズムゲー」といったところか。若者たちの敏捷性に目を見張る。さらには並んだキッチン用品をドラムセットに見立てて、各々の参加者が音楽に合わせて自由奔放なプレイを披露するといった一幕も。

どういうわけか、子供たちといっしょならノリノリでプレイできることでも、大人ばかりになると妙に照れくさくなってしまいがち。そこを乗り越えて童心に帰るのが楽しむコツかもしれない。

最後に取材したのは「カーザ・ダムジカ」と東京文化

会館のそれぞれのワークショップ・リーダーによる観客参加型のワークショップ・コンサート「タ・タ・パ・トゥ・エラ vol.2」(10月25日・東京文化会館小ホール)。こちらは小学生から大人までを対象としているが、未就学児も入場可能なコンサートである。客席には大勢の親子連れが詰めかけた。ポルトガル人たちが東京観光にやってきたという設定で、渋谷を訪れたりお寿司を食べたりといったストーリー性を巧みに織りこみながら、客席に音楽に合わせた手拍子を促すなど、子供たちを飽きさせない工夫が随所に凝らされていた。

ボーカル、ドラムセット、ベース、ヴァイオリン、フルートなどによる迫力のあるステージがくりひろげられた。思った以上にパワフルなコンサートだったので、小学生以上向けという点には納得。出演者に手招きされて多くの子供たちがステージにあがるなど、観客参加型プログラムならではの楽しさにあふれていた。



information!

ミュージック・エデュケーション・プログラム Workshop Workshop! ~国際連携企画~
東京文化会館ミュージック・ワークショップ MPT **リハーサル室 A/B**

ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダムジカ」と連携し、様々なワークショップを開催します。

1 とびだせ!おんがくたんけん隊

日付 12月5日(土)
 時間・対象 10:30 3~4歳
 12:00 5~6歳(未就学児)
 14:00 19~35ヶ月



とびだせ!おんがくたんけん隊
 ©Mino Inoue

2 鳴り響け!にほんの音!

日付 平成28年1月24日(日)
 時間・対象 10:30 3~4歳
 12:00 5~6歳(未就学児)



鳴り響け!にほんの音!
 ©Mino Inoue

3 リズムカル・キッチン

日付 平成28年1月24日(日)
 時間・対象 15:00 小学生~大人



リズムカル・キッチン
 ©Mino Inoue

料金: 参加料500円(「鳴り響け!にほんの音!」予定枚数終了)

主催: 東京都/東京文化会館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

協力: 上野学園大学/公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援: ポルトガル大使館/台東区教育委員会

助成: 一般財団法人地域創造



© 得能通弘

来年は武満徹さんが亡くなって20年になる。歲月人を待たずと言うが、月日の経つのは早い。命日の2月20日にギタリスト庄村清志さんが武満徹さんを偲んで演奏会をする。武満さんは著書の中で「僕は作曲するときにある特定の個人や演奏者を思い、その人のために作品を書くことが多い」と語っていたが、モーツァルトがアントン・シュタードラーのために名曲、クラリネット五重奏曲やクラリネット協奏曲を残したように、武満徹にとって庄村清志は特別な人だった。

武満徹が生涯に渡り、最も愛した楽器はギターだった。小さなオーケストラともいえるギターの静謐な響きは、武満徹の音楽を表現するには最適だったのだろう。ギタリスト庄村清志は、武満のギター独奏作品4曲のうちなんと3曲までもが献呈されている。

庄村の武満徹との最初の出会いは1973年に遡る。ヨーロッパから戻ったばかりの庄村は自分のリサイタルのために、どうしてもオリジナルギター曲を作曲してもらいたかった。「デビューして間もない頃で、いろんな作曲家に電話をしたのだが、結構断られた。そんな中で武満さんが、いちど遊びにいらっしやいとおっしゃった。それが最初の出会いだった」それから20数年、武満さんが亡くなるまで庄村は武満家とは家族ぐるみの付き合いとなった。

庄村さんがヨーロッパから帰ってくる時、テレビでその様子を武満さんの奥様の浅香さんと娘の眞樹さんが見ている、今もそうだが、とにかく格好よかったという話を奥様の浅香さんからうかがったことがある。その庄村さんが武満家に作曲の依頼にきた。だから武満さんが作曲に応じたという訳ではないのだが、庄村さんの飾らない性格、率直な態度は大いに武満さんの心を捉えたに違いない。

大の阪神ファンだった武満さんが、「君はどこが好きかと言うので、巨人と言ったら、じゃあ、作曲はやめたとおっしゃる。それじゃあ、今日から阪神ファンになります。縦縞のユニホームを着ますから、作曲お願いします」と頼んだそうだ。

庄村さんの熱意で武満徹の最初のギター独奏曲、名曲「フォリオス」は出来上がった。第3曲にバッハの「マタイ」のコーラルが挿入されているが、その意味を庄村が知るのははば

interview 04

Music Program TOKYO -プラチナ・シリーズ-
第5回 庄村清志 ゲスト:小林沙羅
～20年目の命日に贈るタケミツの愛のうた～

庄村清志 (ギター)

「今の僕の演奏を聴いていただきたかった。」

武満徹没後20年、
庄村清志がギター独奏曲全4曲を演奏。

取材・文 / 大原哲夫(「武満徹全集」編集長)

らく後のことだった。二つめのギター独奏曲は、1987年ジュリアン・ブリームに捧げられた「すべては薄明の中で」だった。

1993年、庄村さんは25周年の記念リサイタルのために再び作曲をお願いした。この頃、武満さんは最も忙しい時期で、オペラや大曲を幾つも抱えており、最初は断られたと言う。「30分ほどして電話があり、チラシに予告を載せないのだったら作曲出来るかもしれない」と返事があった。そして予定よりずっと早く3ヶ月後に出来たのが「エキノクス」である。武満さんは、庄村さんのために約束を守った。

1995年、武満さんは病魔に見舞われた。庄村夫妻は毎週、病院にお見舞いに通った。武満さんには男の子がいなかったので、きっと庄村さんは息子のような存在だったのではないだろうか。庄村さんは病床の武満さんから「僕にもしものことがあったら、浅香さんを頼む」とまで言われたそうだ。

庄村さんに病床の武満さんから1通の葉書が届いた。そこには「お二人(庄村夫妻)の明るい顔を見ていると希望が湧いてきます。まだもう少しの辛抱ですが、頑張る覚悟です。(病院を)出たらキヨちゃんに1曲ギター曲を書くつもりで寝ながら、構想を練っています。楽しみにしてください」とあった。

遺作となったフルート曲「エア」とほぼ同じ時期に書かれた「森の中で——ギターのための3つの小品」は、こうして出来上がった。1曲目はジョン・ウィリアムズに、2曲目が庄村清志に、3曲目はジュリアン・ブリームへの献呈だった。この曲の全曲初演は、武満さんが亡くなってから8か月後、1996年10月15日、庄村清志の演奏だった。

「まだ、あの頃は、自分の演奏を模索しているところだった。この頃ようやく少しずつ自由に、内側から感じて弾けるようになってきた。武満さんがおっしゃっていたことが、ようやくわかるようになった。今の僕の演奏を武満さんに聴いていただきたかった」と庄村さんはしみじみ語る。

2016年2月20日には、武満徹のギター独奏曲全4曲を庄村清志の独演で、そしてソプラノの小林沙羅が、武満の“ソング”を庄村のギター伴奏で歌う。「キヨちゃん、ありがとう」と、この晩は、きっと会場のどこかで武満さんが聴いておられるに違いない。

公演情報 P11 参照

《響の森》vol.37「ニューイヤーコンサート2016」

大ホール

平成28年1月3日(日) 15:00

出演 指揮:小林研一郎 曲目 チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23
ピアノ:金子三勇士 ブラームス:交響曲第1番 ハ短調 op.68
管弦楽:東京都交響楽団



小林研一郎 © 満田 聡
金子三勇士 © K.Miura

料金 S席6,200円 A席4,100円 B席2,100円(A・B席売切) ※各種割引あり

プラチナ・シリーズ MPT

小ホール

第4回 ザ・クラリノッツ

～スーパー・クラリネット・アンサンブル～

平成28年2月2日(火) 19:00

出演 クラリネット:エルンスト・オッテンザマー
グニエル・オッテンザマー
アンドレアス・オッテンザマー



ザ・クラリノッツ

ピアノ:菊池洋子
曲目 “ON STAGE”～オペラ、舞劇、そして映画音楽とともに～
モーツァルト:オペラ「皇帝ティートの慈悲」より
“私は行くが、君は平和に”
モーツァルト:オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」より
“風はおだやかに”
モーツァルト:オペラ「後宮からの逃走」より
“どんな責め苦があるうとも”
パッシ:オペラ「椿姫」のモチーフによる幻想曲
オペラ「リゴレット」のモチーフによる幻想曲
ロッシーニ:踊り
コヴァーチ:ファリャへのオマージュ
ガーシュウィンへのオマージュ
シヨレム・アレイヘム
ボンファ:オルフェの歌
コロニー:Take Five



菊池洋子
© Marco Borggreve

第5回 庄村清志 ゲスト:小林沙羅

～20年目の命日に贈るタケミツの愛のうた～

平成28年2月20日(土) 15:00

出演 ギター:庄村清志
ソプラノ:小林沙羅



庄村清志
© 得能通弘

曲目 武満徹:フォリオス
すべては薄明のなかで
エキノクス
森のなかで
ソングスより「小さな空」「翼」他



小林沙羅
© Nippon Columbia

料金 S席5,000円 A席4,000円 B席2,500円
(第4回:予定枚数終了、第5回:B席売切)

まちなかコンサート MPT

小ホール

Vol.3 よりみちコンサート

歌で贈るクリスマス・プレゼント

12月22日(火) 19:00～20:00

出演 ソプラノ:上田純子 *第8回東京音楽コンクール声楽部門第1位
ソプラノ:清水理恵 *第7回声楽部門第1位及び聴衆賞
テノール:宮里直樹 *第10回声楽部門第2位(最高位)及び聴衆賞
バリトン:高橋洋介 *第9回声楽部門第2位及び聴衆賞
ピアノ:藤原藍子

ナレーター:窪田壮史
曲目 バッハ=グノー:アヴェ・マリア
フンパーディンク:クリスマス(Weihnachten)
モーツァルト:モテット「踊れ、喜べ、幸いなる魂よ」より“アレレヤ”
ビゼー:アニユス・デイ
ブッチーニ:歌劇「ラ・ボエーム」より抜粋



上田純子 清水理恵 宮里直樹 高橋洋介



藤原藍子 窪田壮史

料金 自由500円(予定枚数終了)

創遊・楽落らいぶ

—音楽家と落語家のコラボレーション—

小ホール

500円で音楽と落語を楽しめるお得な1時間コンサート。
落語と音楽のコラボレーションをお楽しみください。

vol.32 12月17日(木) 11:00～12:00

出演 落語:桂竹丸
作曲:バンドネオン・ピアノ:啼鵬
フルート:七海良美
内容 第1部:ミニコンサート
第2部:落語と音楽のコラボレーション
「五稜郭ロマン」



桂竹丸 啼鵬

vol.33 平成28年2月18日(木) 11:00～12:00

出演 落語:瀧川鯉昇 他
内容 第1部:ミニコンサート
第2部:落語と音楽のコラボレーション



瀧川鯉昇

料金 自由500円(vol.33:12月17日(木)発売)

モーニングコンサート


小ホール

500円で楽しむ、東京音楽コンクールの入賞者による朝の1時間のコンサート。

vol.90 12月9日(水) 11:00~12:00

出演 ヴァイオリン:坪井夏美
*第12回弦楽部門第1位及び聴衆賞
ピアノ:三又瑛子

曲目 ショーソン:詩曲 op.25
フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調 他




坪井夏美

vol.92 平成28年2月10日(水) 11:00~12:00

出演 トロンボーン:玉木 優 *第8回金管部門第2位
ピアノ:高良仁美

曲目 グレンダール:トロンボーン協奏曲
ガーシュウィン:歌劇『ポーギーとベス』より
“サマータイム” 他




玉木 優

vol.91 平成28年1月14日(木) 11:00~12:00

出演 バリトン:岡 昭宏 *第12回声楽部門第1位及び聴衆賞
ピアノ:谷池紘重子

曲目 ヴェルディ:
歌劇『ドン・カルロ』より“終わりの日は来た”
歌劇『オテロ』より“イアーゴの信条” 他




岡 昭宏

vol.93 平成28年3月3日(木) 11:00~12:00

出演 ピアノ:今田 篤 *第11回ピアノ部門第2位

曲目 ショパン:夜想曲第8番 変ニ長調 op.27-2
ラフマニノフ:楽興の時 op.16 他



今田 篤

速報!
Vol.94~97ラインナップ
1月11日(月・祝)発売

Vol.94 4月21日(木) ピアノ:梅村知世 *第10回ピアノ部門第3位
Vol.95 5月11日(水) チェロ:水野優也 *第13回弦楽部門第1位及び聴衆賞
Vol.96 6月8日(水) ソプラノ:中江早希 *第11回声楽部門第3位
Vol.97 7月14日(木) トランペット:守岡未央 *第12回金管部門第3位及び聴衆賞

料金 自由500円(Vol.90:予定枚数終了)

ティータイムコンサート

大ホールホワイエ

大ホールホワイエで東京都交響楽団メンバーによる約40分のコンサートをお楽しみください。

平成28年1月13日(水)

2月29日(月) 13:00~13:40



料金 入場無料

バックステージツアー

大ホール

普段目にするのでできない舞台裏やサインの見学など、見どころいっぱいのツアーです。

12月8日(火) 14:30~19:00~

平成28年2月9日(火) 14:30~19:00~



料金 参加料500円

ミュージック・エデュケーション・プログラム Talk & Lesson 玉木 優トロンボーンワークショップ MPT

東京音楽コンクール他、国内外の数々のコンクールに入賞後、ミシシッピ響、東京佼成ウインドオーケストラを経て、現在は南デンマークフィル副首席奏者を務める玉木優が、海外における豊富な経験から得たテクニックを伝授します。受講生の自主性を尊重し、話し合いながら共に学び、相乗効果での発見とひらめきを得るワークショップです。

平成28年2月11日(木・祝)~13日(土) 10:00~20:00

東京芸術劇場シンフォニースペース (11-12日) 東京文化会館 小ホール (13日)

受講対象 高校生以上で、プロの奏者を目指す学生、またはスキルアップを図るプロ奏者。10名程度。
募集期間 12月1日(火)~11日(金) 消印有効 ※詳細はホームページをご覧ください。



料金 受講料30,000円(全3回、修了時の成果発表会出演有)
聴講料1,000円(1回) 2,500円(通し券)(12月1日(火)発売)

チケットはこちらから

- 東京文化会館チケットサービス/03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/ticket/>
- 都響ガイド/03-3822-0727 <http://www.tmso.or.jp/>
- チケットぴあ/0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>
- イープラス/ <http://eplus.jp/t-bunka/>
- ローソンチケット/0570-000-407 <http://l-tike.com/>

※公演により取扱のないプレイガイドもございます。
※都合により内容が変更となる場合がございますのでご了承ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
(一部のコンサート/ワークショップを除く)
※料金は税込みです。

■お問合せ
東京文化会館事業企画課 03-3828-2111(代表)
www.t-bunka.jp Twitter@tbunka_official

オペラの愉しみ

文/ドナルド・キーン(日本文学研究者)

私が初めて観たオペラは『カルメン』だった。ニューヨークの野外劇場だったが観客の多くは高校生か大学生で、オペラの中の歌を多少知っていても、オペラより夏の夜を楽しんでいた。私はトリアドールの歌以外にこのオペラについて何の知識もなかったが、聴きながら徐々に特別な世界に入り込んでいく気がした。それからラジオでオペラを聴くようになった。翌年初めてメトロポリタン歌劇場(メト)の“天井が一番近い安い席(天井棧敷)”からオペラを観ることができた。

オペラの何にそれほどの魅力あったのか説明し難いが、きっかけは先ずラジオからだっただろう。アメリカにラジオができたのはちょうど私が少年の頃で、初めて知った音楽はラジオで聴いたものだった。無意識的にオペラを聴くようになった。当時は子供でも、カルーソの声が最も素晴らしいと知っていた。

16歳になった頃、メトにはカルーソのような歌手はいなかったが、“人間の美しい声”に酔った。また、舞台装置の面白さや歌手の服装の美しさや珍しさが好きで、私の平凡な生活に美の世界を与えてくれた。ちょうどあの頃はレコードが安くなって、私はおこづかいで一枚買うことができた。初めて買ったのはベートーベンの『月光』で、1ドルだった。その後の選択は難しかったが、やはり『カルメン』の抜粋を買った。今でも『カルメン』に特別な温かみを感じるが他の名作も味わうようになった。

私の通っていた大学の教授はモーツァルトの『フィガロの結婚』を褒めたので私はレコードが欲しかったが、全部で20枚で3つのアルバムに分かれていた。母は私の6月の誕生日に第一のアルバムをプレゼントしてくれた。第二はクリスマス、第三のアルバムは翌年の誕生日だった。私が持っていた全曲のオペラはこのモーツァルトの大傑作だけだったが、イタリア語の意味を知らなくても、音



小澤征爾(指揮) 2007年3月 東京のオペラの森2007「タンホイザー」(リハーサル) 東京文化会館 写真/木之下 晃

楽をよく知るようになった。今でも最も好きなオペラだ。何回聴いても大傑作に飽きることはない。

段々に私のレコードコレクションは増えていった。初めは、旋律の美しい、知っているオペラを選んだ。大学生の4年間はワーグナーの黄金時代だった。最初は親しみにくいとと思っていたワーグナーの音楽を聴いているうち次第に愛するようになった。愛するまでに何回も同じレコードを聴いた。割合に早く好きになり、ついには『神々の黄昏』の最後の部分を毎日大学から家に帰ると必ず一度聴いた。また同じようにフラグスタートのレコードをかけた。数年経ってからのこと、ドビュッシーの『ペレアスとメリザンド』を聴くことが毎日の日課になった。最初はなんの旋律もないオペラだと思ひ、分かり易いフランス語を聴くことが一番の楽しみだった。がなんと、数年前にメトでこのオペラを聴いた時、これより素晴らしいオペラはないと思った。勿論、年とともに趣味が変わるだろうし、歌手や指揮者によって好き嫌いもあるが、偉大な音楽に幻滅することはあり得ない。

オペラを難しいと思う方に同じ作品を

何回も聴くことを勧める。300年も前から音楽家たちは無数のオペラをつくってきた。残っているものは宝石とも言えるものだが、その数は精々100程度だろう。100は少ないと思えたら、忘れ去られたオペラの中に傑作を発見する可能性もある。


最近、小澤征爾はふたつを復活した。ひとつはラヴェルの『子供と魔法』だった。ラヴェルの音楽は軽くて子供にも喜ばれるだろうが、深い印象を残す。東京文化会館で演じられた時、歌手たちはフランス語で歌ったが、その後、京都での公演では中学生のために日本語で歌われた。小澤は多忙にもかかわらず若い日本人がオペラの楽しさを理解し、未来のファンになることを願ってこのような指揮も引き受けた。

小澤のもうひとつの発見はベルリオーズの『ペアトリスとベネディクト』だった。このオペラの序曲は度々上演されるが、歌としての音楽を全く知らなかった。これはシェークスピアの喜劇に基づいているが、笑わせるところは少なく、むしろ音楽の美しさに驚かされた。『セイジ・オザワ 松本フェスティバル』の小澤征爾総監督によって素晴らしいオペラの傑作が増えたと言える。

大ホール


3日 15:00
 東京文化会館『響の森』vol.37
 ニューイヤーコンサート2016 主催公演 P11参照

指揮 小林研一郎
 出演 金子三勇士(Pf)
 演奏 東京都交響楽団
 曲目 チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番
 プラームス:交響曲第1番
 料金 S6,200 A4,100 B2,100
 問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111




5日 19:00
 ミハイロフスキー劇場バレエ『ローレンシア』
 旧レニングラード国立バレエ

演目 アレクサンドル・クレイン:『ローレンシア』
 振付 ワフタンク・チャブキアーニ
 改定演出 ミハイル・メッセレル
 指揮 ヴァレンティン・ボグダーノフ 他
 出演 イリーナ・ペレン
 イワン・ワシリーエフ
 ミハイロフスキー劇場バレエ団
 演奏 ミハイロフスキー劇場管弦楽団
 料金 S15,000 A13,000 B11,000 C9,000 D7,000
 問合せ 光藍社チケットセンター 050-3776-6184




6日 19:00
 ミハイロフスキー劇場バレエ『ジゼル』
 旧レニングラード国立バレエ

演目 アドルフ・アダン:『ジゼル』
 振付 ジャン・コラーリ/ジュール・ペロー/
 マリウス・ブティバ
 改定演出 ニキータ・ドルグーシン
 指揮 ヴァレンティン・ボグダーノフ 他
 出演 ポリーナ・セミオノフ
 レオニード・サラファノフ
 ミハイロフスキー劇場バレエ団
 演奏 ミハイロフスキー劇場管弦楽団
 料金 S15,000 A13,000 B11,000 C9,000 D7,000
 問合せ 光藍社チケットセンター 050-3776-6184



8日 18:30
9日 15:00
 2016年スターダンサーズ・バレエ団1月公演
 ピーター・ライト版『コッペリア』

演目 レオ・ドリーブ:『コッペリア』
 振付 マリウス・ブティバ/エンリコ・チェッケッティ/
 ピーター・ライト
 指揮 田中良和
 出演 (8日) スワニルダ:渡辺恭子
 (9日) 林ゆりえ
 フランツ:ジョセフ・ケイラー 吉瀬智弘
 演奏 テアトロ・ジューリア・ショウワ・オーケストラ
 料金 SS10,500 S9,000 A6,500 B5,000 C4,000 D3,000
 問合せ スターダンサーズ・バレエ団 03-3401-2293



10日 10:00
 平成27年度 東京都高等学校文化祭 音楽部門中央大会


出演 東京都高等学校文化連盟加盟校 各地区代表
 曲目 各地区団体による、合唱・管弦楽・吹奏楽
 料金 入場無料
 問合せ 青山高等学校内 音楽部門事務局 03-3404-7801

11日 14:00
 第13回東京音楽コンクール
 優勝者コンサート 主催公演 P2-3参照

指揮 梅田俊明
 出演 水野優也(Vc) 鈴木一成(Fg) 清水勇磨(Br) 朝岡聡(司会)
 曲目 シューマン:チェロ協奏曲
 フランセ:ファゴット協奏曲
 ロッシーニ:歌劇『セヴィリアの理髪師』より
 “私は街の何でも屋”他
 演奏 東京フィルハーモニー交響楽団
 料金 指定2,000 問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111


12日 19:00
 東京都交響楽団
 第800回定期演奏会 Aシリーズ

指揮 小泉和裕
 出演 イザベル・ファウスト(Vn)
 曲目 メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲
 R.シュトラウス:家庭交響曲
 料金 S6,500 A5,500 B4,500
 C3,500 Ex1,800
 問合せ 都響ガイド 03-3822-0727




15日 18:00
16日 17:00
17日 16:00
 谷桃子バレエ団 新春公演『眠れる森の美女』

演目 チャイコフスキー:『眠れる森の美女』
 芸術監督 齊藤拓
 監修 イリーナ・コルパコワ
 改訂振付 エルダール・アリエフ
 指揮 河合尚市
 出演 (15日) オーロラ姫:永橋あゆみ
 (16日) 植田綾乃
 (17日) 佐藤麻利香
 デジレ王子:三木雄馬 榎山和久 山科諒馬
 カラボス:館形比呂一 館形比呂一 館形比呂一
 リラの精:佐々木和葉 馳麻弥 林麻衣子
 フロリナ姫:齊藤羅 加藤未希 竹内菜那子
 青い鳥:牧村直紀 中村慶潤 吉田邑那
 演奏 東京ニューシティ管弦楽団
 料金 S12,000 A10,000 B8,000
 C6,000 D4,000 E3,000
 問合せ 谷桃子バレエ団 03-3717-7806




18日 19:00
19日 19:00
 リッカルド・ムーティ指揮 シカゴ交響楽団

曲目 (18日) ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」
 マラー:交響曲第1番「巨人」
 (19日) プロコフィエフ:交響曲第1番「古典交響曲」
 ヒンデミット:弦楽と金管のための協奏音楽
 チャイコフスキー:交響曲第4番
 料金 S39,000 A35,000 B28,000 C22,000
 D16,000 E14,000
 問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888



22日 18:30
 第2回 SPクラシック・コンサート
 ～ニューイヤー・ミュージック・フェスティバル～

指揮 新田孝
 出演 打木真乃(Fl) 矢田ちひろ(Pf) 寺沢希美(Vn)
 Sugar Sisters:佐藤容子(S) 佐藤寛子(MS)
 演奏 ニッポン・シンフォニー
 曲目 ベートーヴェン:バレエ音楽「プロメテウスの創造物」
 ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
 ロマンズ第2番
 ライネッケ:フルート協奏曲
 中山晋平:『野島雨情の世界』より“兎のダンス”他
 料金 SS7,000 S6,000 A5,000 B4,000
 問合せ SPプランニング 048-223-9895



30日 14:00
31日 14:00
 2016市民芸術フェスティバル参加公演
 藤原歌劇団 歌劇『トスカ』

演目 ブッチーニ:歌劇『トスカ』全3幕・字幕付き原語上演
 指揮 柴田真都
 演出 馬場紀雄
 出演 (30日) トスカ:野田ヒロ子
 カヴァラドッシ:村上敏明
 スカルピア:折江忠道
 アンジェロッティ:三浦克次
 堂守:柴山昌宣
 スポレッタ:所谷直生
 シャルローネ:党主税
 看守:坂本伸司
 牧童:時田早弥香
 (31日) 佐藤康子
 笛田博昭
 須藤慎吾
 久保田真澄
 安東女人
 澤崎一了
 田中大揮
 坂本伸司
 時田早弥香
 演奏 藤原歌劇団合唱部
 東京フィルハーモニー交響楽団
 料金 S14,800 A12,800 B9,800 C6,800 D3,800 E3,000
 問合せ 日本オペラ振興会チケットセンター 044-959-5067



小ホール

5日 14:00
 室内楽はいかが?第17回「ベートーヴェン物語」
 ～ハイリゲンシュタットの遺書～

出演 崔善愛(Pf) 三宅進(Vc) 齊藤とも子(語り) 他
 曲目 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第4番より 他
 料金 自由4,000 学生2,000
 問合せ スタジオM&C 042-723-5854

6日 19:00
 佐伯周子シューベルト完全全曲演奏会 第17回

曲目 シューベルト:ピアノソナタ第20番「遺作」 他
 料金 自由3,000 学生1,000
 問合せ ピアノミュージックジャパン(高本) 080-5528-3281

7日 未定
 第9回ペーテン音楽コンクール 全国大会

出演 当日発表
 料金 入場無料(関係者のみ)
 問合せ ペーテン音楽協会 0847-62-4382

9日 14:00
 室井摩耶子(Pf) トークコンサート

曲目 ハイドン:ピアノソナタ Hob.XVI:52 他
 料金 自由5,000
 問合せ ゼール音楽事務所 03-3995-5221

11日 14:00
 日韓国交正常化50周年記念
 吉岡孝悦ニューイヤー・マリリンコンサート

出演 吉岡孝悦(Mar) 塩浜玲子(Mar)
 チャン・エリオン(Mar) アンサンブル クレオ
 曲目 第1部:絵画と音楽のコラボレーション
 第2部:サウンドオブミュージック 他
 料金 自由4,000(当日4,500)
 問合せ スーパーマリリンプロジェクト 090-2768-6386

12日 19:00
 ～イタリアン・ネオ・ロマンティク～
 オッタヴィアーノ・クリストーフオリ トランペッティサイタル

出演 オッタヴィアーノ・クリストーフオリ(Tp)
 マルティナー・フレツォッティ(Pf)
 曲目 ポンキエリ:トランペット協奏曲 他
 料金 指定4,000 学生2,000
 問合せ テレビマンユニオン音楽事業部 03-6418-8617

13日 19:00
 東京室内管弦楽団 Chamber Music Style op.3

出演 菅野宏一郎(指揮) 高杉健人(Cb)
 曲目 ビートルズ オン パロックより 他
 料金 自由4,000
 問合せ 東京室内管弦楽団 03-6459-0512

14日 11:00
 東京文化会館 モーニングコンサート Vol.91 主催公演 P12参照

出演 岡昭宏(Br) 谷池純重子(Pf)
 曲目 ヴェルディ:歌劇『ドン・カルロ』より“終わりの日は来た” 他
 料金 自由500
 問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

14日 19:00
 ムジカ・ボヘミカ第31回ピアノ演奏会
 ヤン・ホラーク教授メモリアル

出演 田頭英子(Pf) 樋園 亮(Pf) 加我純子(Pf) 岩津勢伊子(Pf)
 曲目 マルチヌー:胡蝶と極楽鳥 他
 料金 自由3,500
 問合せ ムジカ・ボヘミカ(加藤) 045-822-8740

15日 19:00
 平井富司子ソプラノリサイタル

出演 平井富司子(s) サプリナ・トロイゼ(Pf)
 曲目 ブッチーニ:歌劇『トスカ』より“歌に生き、愛に生き” 他
 料金 自由5,000
 問合せ ハラヤミュージックエンタープライズ 03-3587-0218

16日 18:30
 クライネス・コンツェルトハウス op.33

出演 クライネス・コンツェルトハウス管弦楽団
 曲目 ベートーヴェン:交響曲第2番 他
 料金 自由5,000
 問合せ ハラヤミュージックエンタープライズ 03-3587-0218

17日 14:00
 尾池亜美 ニューイヤーコンサート

出演 尾池亜美(Vn) 藤原晶世(Vn) 安達真理(Va)
 内田佳宏(Vc) 山本恵利花(Pf)
 曲目 サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン 他
 料金 指定4,000
 問合せ MIN-ON インフォメーションセンター 03-3226-9999

18日 19:00
 2016市民芸術フェスティバル参加公演
 室内楽シリーズ No.15「室内楽の夕べ」

出演 有田正広(Fl) 桐山建志(Vn) 山本 徹(Vc) 曾根麻矢子(Cem)
 曲目 ラモール:クラヴサンコンセルより 他
 料金 指定3,000
 問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

19日 19:15
 河野克典 バリトンリサイタル 歌の旅 Vol.4 冬の風

出演 河野克典(Br) 関本昌平(Pf)
 曲目 シューベルト:冬の旅
 料金 指定5,000
 問合せ アスペン 03-5467-0081

22日 18:30
 日本テレマン協会 第230回定期演奏会

出演 延原武春(指揮) テレマン室内オーケストラ
 曲目 テレマン:「食卓の音楽」第2集
 料金 自由3,500(当日4,000) 65歳以上2,000
 問合せ 日本テレマン協会 06-6345-1046

23日 13:30
 天満敦子 無伴奏ヴァイオリンコンサート

曲目 ポルムベスク:望郷のパラード 他
 料金 指定4,600
 問合せ 東京音協 03-5774-3030

24日 14:00
 新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズ TOKYO48
 清水勇磨 バリトンリサイタル

出演 清水勇磨(Br) 藤川志保(Pf)
 曲目 ロッシーニ:歌劇『セヴィリアの理髪師』より
 “私は街の何でも屋”他
 料金 自由2,500
 問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

25日 19:00
 モルゴア・カルテット 第43回定期演奏会

出演 荒井英治(Vn) 戸澤哲夫(Vn) 小野富士(Va) 藤森亮一(Vc)
 曲目 ヴェルディ:弦楽四重奏曲 他
 料金 自由4,000 学生2,000
 問合せ ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

26日 19:00
 ジョン・健・ヌッツォ テノールリサイタル Liederabend II

出演 ジョン・健・ヌッツォ(T) 村松亜紀(Pf)
 曲目 ベートーヴェン:希望に寄せて 他
 料金 指定6,000
 問合せ Ro-On チケット 047-365-9960

30日 19:00
31日 15:00
 東京文化会館 舞台芸術創造事業
 ON-MYAKU 2016 -see/do/be tone- 主催公演 P4-5参照

構成・振付・ダンス 白井 剛
 音楽構成・ピアノ 中川賢一
 映像演出 堀井哲史
 曲目 スティーヴ・ライヒ:《ピアノフェイス》より 他
 料金 S4,500 A3,500
 問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111
 ※30日終演後にアーティストによるアフタートークあり。

休館日:1日(金・祝)・2日(土)・20(水)・21日(木)

休館日:1~3日(金・祝~日)・20日(水)・21日(木)

大ホール

5 金 18:30	東京バレエ団 初演 プルメイステル版『白鳥の湖』 演目 チャイコフスキー『白鳥の湖』 振付 ウラジミール・プルメイステル/レフ・イワノフ(第2幕) 芸術監督 斎藤友佳理 指揮 アントン・グリシャニン 出演 (5日) (6日) (7日) オデット/オディール: 上野水香 渡辺理恵 川島麻実子 ジークフリード王子: 柄本 弾 秋元康臣 岸本秀雄 演奏 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 料金 S12,000 A10,000 B8,000 C6,000 D4,000 E3,000 問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888
9 火 14:30 19:00	東京文化会館バックステージツアー 主催公演 P12 参照 参加費 500(保険料含む) 料金 中学生以上/各回60名限定 ※階段の昇降がございます。あらかじめご了承ください。 問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111
17 水 18:30	《パルマ王立歌劇場とヴェネツィア・フェニーチェ劇場との提携公演》 東京二期会オペラ劇場『イル・トロヴァトーレ』 演目 ヴェルディ: 歌劇『イル・トロヴァトーレ』 全4部・字幕付き原語上演 指揮 アンドレア・パッティストーニ 演出 ロレンツォ・マリアーニ 出演 (17・20日) (18・21日) レオノーラ : 並河寿美 石原妙子 マンリコ : エクトール・サンドバル 小原啓楼 ルーナ伯爵 : 上江隼人 成田博之 アズチーナ : 清水華澄 中島郁子 フェルランド : 伊藤純 清水那由太 イネス : 富岡明子 杉友恵子 ルイス : 今尾 滋 大野光彦 老ジプシー : 三戸大久 杉浦隆大 使者 : 吉田 連 前川健生 合唱 二期会合唱団 演奏 東京都交響楽団 料金 S13,500 A12,500 B10,000 C8,000 D2,000 問合せ 二期会チケットセンター 03-3796-1831 チケットスペース 03-3234-9999

休館日: 8日(月)・23日(火)

●掲載情報は2015年11月13日現在のものです。
●主催者等の都合により、公演内容が変更になる場合があります。また、公演によっては全席種のチケットをご用意できない場合もあります。詳しくは各主催者にお問合せください。

アルト(A)/アコーディオン(Ac)/バリトン(Br)/バス(Bs)/バスバリトン(Bs-Br)/バンドネオン(Bn)/カウンターテナー(CT)/コントラバス(Cb)/クラリネット(Cl)/チェンバロ(Cem)/ドラムス(Ds)/ユーフォニアム(Eu)/ファゴット(Fg)/フルート(Fl)/フォルテピアノ(Fp)/ギター(Gt)/ヴィオラ・ダ・ガン(Gb)/ハープ(Hp)/ホルン(Hr)/キーボード(Key)/メゾソプラノ(Ms)/マリンバ(Mar)/オーボエ(Ob)/オルガン(Og)/ピアノ(Pf)/パーカッション(Pc)/ソプラノ(S)/サクソックス(Sax)/テノール(T)/トロンボーン(Tb)/ティンパニ(Tim)/トランペット(Tp)/チューバ(Tu)/ヴィオラ(Va)/ヴィブラフォン(Vib)/チェロ(Vc)/ヴァイオリン(Vn)/ヴォーカル(Vo)/ソプラノサクソックス(S-Sax)/アルトサクソックス(A-Sax)/テナーサクソックス(T-Sax)/バリトンサクソックス(Br-Sax)/リコーダー(Rec)/シンセサイザー(Syn)/コーラス(Cho)

22 月 19:00	都民劇場音楽サークル第634回定期公演 ジャーヌ・ヤンセン ヴァイオリン・リサイタル 出演 ジャーヌ・ヤンセン(Vn) イタマール・ゴラン(Pf) 曲目 プラームス:ソナタ第2番 バルトーク:ソナタ第2番 ルトスワフスキ:スピト ベートーヴェン:ソナタ第10番 料金 S7,000 A6,000 B5,000 C4,000 問合せ 都民劇場 03-3572-4311
24 水 16:00	東京いずみ幼稚園 40周年記念コンサート 出演 東京いずみ幼稚園園児 いずみMS幼小合唱団 曲目 【合奏】 シベリウス:交響詩「フィンランディア」 ケテルビー:ベルシャの市場 J.シュトラウスI世:ラデツキー行進曲 他 【合唱】 世界の名曲より、童謡・唱歌 料金 無料(指定席・要事前申込) 締切日:平成28年1月21日(木) 問合せ 東京いずみ幼稚園 03-3605-3341
27 土 15:00	小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト 演目 J.シュトラウスII世:喜歌劇『こうもり』 指揮 小澤征爾 村上寿昭 演出 デイヴィット・ニース 演奏 小澤征爾音楽塾合唱団 小澤征爾音楽塾オーケストラ 問合せ 小澤征爾音楽塾 東京公演事務局 0570-084-735
28 日 14:00	陸上自衛隊 第1音楽隊 第40回定期演奏会 出演 陸上自衛隊 第1音楽隊 曲目 未定 料金 無料(指定席・要事前申込) 締切日:平成28年1月28日(木) 問合せ 陸上自衛隊 第1師団司令部 広報班 03-3933-1161 内線(2151-2152)

東京文化会館チケットサービスのご案内

当館及び他会場で開催される、オペラ、バレエ、クラシックコンサート等のチケットを多数取り揃えております。窓口、お電話の他、インターネットでもご購入いただけます。ぜひご利用ください。

- ◆営業時間 10:00~19:00
- ◆TEL 03-5685-0650
- ◆HP <http://www.t-bunka.jp/>
- ◆休業日 12月/7日(月)*・14日(月)*・29日(火)・30日(水)
1月/1日(金・祝)・2日(土)・20日(水)*・21日(木)*
2月/8日(月)・23日(火)
3月/28日(月)
*窓口休業【電話(10:00~18:00)・Webのみ受付】








小ホール

1 月 19:00	島根 恵 ヴァイオリンリサイタル 出演 島根 恵(Vn) 島根朋史(Vc) 町田美弥子(Pf) 曲目 ドビュッシー:ピアノ三重奏曲 他 料金 自由4,000 学生3,000 問合せ インターミュージック・トーキョウ 03-3475-6870
2 火 19:00	Music Program TOKYO プラチナ・シリーズ第4回 ザ・クラリノッツ 主催公演 P11 参照 ~スーパークラリネット・アンサンブル~ 出演 エルンスト・オッテンザマー(Cl) ダニエル・オッテンザマー(Cl) アンドレアス・オッテンザマー(Cl) 菊池洋子(Pf) 曲目 モーツァルト:歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』より “風はおだやかに” 他 料金 S5,000 A4,000 B2,500 問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111
3 水 19:00	池山洋子 ピアノリサイタル 曲目 モーツァルト:「ああ、お母さん、あなたに申しませう」の 主題による12の変奏曲 他 料金 自由3,000 高校生以下2,500 問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131
4 木 19:00	佐伯周子×小森谷 巧×渡部 玄一 シューベルト室内楽特別コンサート 出演 佐伯周子(Pf) 小森谷 巧(Vn) 渡部 玄一(Vc) 曲目 シューベルト:ピアノ三重奏曲 変奏長調 他 料金 自由4,000 学生2,500 問合せ ピアノミュージックジャパン(高本) 080-5528-3281
5 金 13:30	第6回音楽祭 スマイル合唱団のスマイル合唱会 出演 小貫岩夫(T) スマイル合唱団および指導員 曲目 童謡、唱歌、ラジオ歌謡 他 料金 入場無料(要事前申込) 問合せ スマイル合唱団支援事務局 03-6304-0161
6 土 14:00	東京都庁合唱団 演奏会 出演 岸 信介(指揮) 法嶋晶子(Pf) 曲目 高田三郎:混声合唱組曲「心の四季」 他 料金 自由1,500 問合せ 東京都庁合唱団(榎本) 080-3413-4953
7 日 13:00	東日本大震災復興支援チャリティコンサート 第5回 Sing in Messiah 出演 八尋和美(指揮) 三塚直美(S) 小川明子(A) 大島 博(T) 田代和久(Br) 東京バツハ・カンタータ・アンサンブル 曲目 ヘンデル:オラトリオ「メサイア」全曲 料金 自由5,000 問合せ おとのきずな実行委員会 03-3685-3248
9 火 19:00	びわ湖ホール声楽アンサンブル 東京公演 vol.8 「日本合唱音楽の古典Ⅳ」 出演 沼尻竜典(指揮) 渡辺治子(Pf) 曲目 廣瀬量平:混声合唱組曲《海の詩》 他 料金 指定4,000 青少年(25歳未満)2,500 問合せ びわ湖ホールチケットセンター 077-523-7136
10 水 11:00	東京文化会館 モーニングコンサート Vol.92 主催公演 P12 参照 出演 玉木 優(Tb) 高良仁美(Pf) 曲目 グレンダール:トロンボーン協奏曲 他 料金 自由500 問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111
10 水 19:00	2016都民芸術フェスティバル参加公演 室内楽シリーズ No.15「ピアノ三重奏の夕べ」 出演 菊池洋子(Pf) 徳永二男(Vn) 毛利伯郎(Vc) 曲目 プラームス:ピアノ三重奏曲 第1番 他 料金 指定3,000 問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131
11 木祝 14:00	藍川由美「日本のうた編年体コンサート⑯」 出演 藍川由美(S) 夢沼明美(Pf) 片山杜秀(解説) 曲目 NHK国民合唱と昭和19,20年の歌 料金 指定3,000 問合せ オフィス小野寺 03-6814-8444
12 金 18:30	浮ヶ谷順子 フルトリサイタル 出演 浮ヶ谷順子(Fl) 黒岩 悠(Pf) 曲目 ベートーヴェン:ロマンズ第2番 他 料金 指定5,000 問合せ Ro-On チケット 047-365-9960
13 土 10:00	Music Program TOKYO 玉木 優 トロンボーン・ワークショップ 主催公演 P12 参照 料金 聴講料1日券1,000 3日間通し券2,500 (11・12日東京芸術劇場 13日東京文化会館) 問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111







休館日: 8日(月)・23日(火)

14 日 14:00	新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズ TOKYO49 桐原哲也 ピアノリサイタル 曲目 シューマン:クライスレリアーナ 他 料金 自由2,500 問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131
15 月 18:45	日本モーツァルト協会 第576回例会 ~フリードリヒ・ラムへの贈り物~ 出演 ラモン・オルテガ・ケロ(Ob・指揮) 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 曲目 モーツァルト:オーボエ協奏曲 八長調 他 料金 自由6,000 学生2,000 問合せ 日本モーツァルト協会 03-5467-0626
16 火 19:00	第23回 東京藝術大学サクソフーン専攻生による演奏会 曲目 R.シュトラウス:ティル・オイレンシュピーゲルの 愉快ないたずら 他 料金 自由1,200(当日1,500) 問合せ 東京藝術大学サクソフーン専攻生(戸村) 090-2268-6922
17 水 18:30	第21回 上野アミカルトランペットアンサンブル ~東京藝術大学トランペット専攻生によるコンサート~ 曲目 レスピーギ:『シバの女王ベルキス』 他 料金 自由1,000 問合せ 上野アミカルトランペットアンサンブル(蔵持) 090-6539-1618
18 木 11:00	創遊・楽落らいぶ Vol.33 主催公演 P11 参照 ~音楽家と落語家のコラボレーション~ 出演 瀧川鯉昇(落語) 他 演目 第1部:ミニコンサート 第2部:落語と音楽のコラボレーション 料金 自由500 問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111
19 金 19:00	「モーツァルト×2」田代万里生&米津真浩 出演 田代万里生(語り・T) 米津真浩(Pf) 曲目 モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク 他 料金 指定5,000 問合せ ヴォートル・チケットセンター 03-5355-1280
19 金 19:00	安田正昭 ピアノリサイタル 曲目 リスト:超絶技巧練習曲集(全曲) 他 料金 自由3,500 問合せ 銀河企画 0422-52-0429
20 土 15:00	Music Program TOKYO プラチナ・シリーズ 第5回 主催公演 P10-11 参照 荘村清志(Gt) ゲスト:小林沙羅(S) ~20年目の命日に贈るタケミツの愛のうた~ 曲目 武満 徹:フォリオス 他 料金 S5,000 A4,000 B2,500 問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111
21 日 14:00	第27回 東京藝術大学ホルンアンサンブル定期演奏会 出演 日高 剛(ゲスト・Hr) 曲目 未定 料金 自由1,200(当日1,500) 問合せ 東京藝術大学ホルン科(鈴木) 080-1305-8084
22 月 18:30	第21回 東京藝大ファゴット集団 定期演奏会 曲目 グリーグ/横山未央子編曲:《ペール・ギュント》第1組曲 他 料金 自由1,500 高校生以下1,000 問合せ 東京藝大ファゴット集団(浦田) 080-6220-4510
27 土 15:00	東京文化会館 舞台芸術創造事業 主催公演 P6-7 参照 たいらじょう×宮田大『Hamlet』 出演 たいらじょう(脚本・演出・美術・人形操演) 宮田大(音楽構成・Vc) 曲目 J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲より 他 料金 S5,800 A3,800 B2,000 問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111
28 日 14:00	アマチュアピアノコンクール優勝者による ピアノジョイントコンサート vol.9 出演 所千晴(Pf) 松本 淳(Pf) 小久保和哉(Pf) 深津 徹(Pf) 曲目 ショパン:ピアノソナタ第2番「葬送」 他 料金 自由1,500(当日2,000) 問合せ オフィス・ピアノイング(松本) 090-6139-5686
29 月 19:00	ホルンの響き36 出演 武蔵野音楽大学ホルン専攻有志 曲目 小編成アンサンブルと委嘱作品の大編成アンサンブル 料金 自由800(当日1,000) 問合せ 武蔵野音楽大学ホルン会(小松) 080-6672-5205

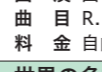
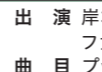
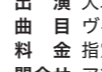
大ホール

4 金 18:30	ジョン・ノイマイヤー「京都賞」受賞記念 ハンブルク・バレエ団 2016年日本公演 『リリウム-回転木馬』	
5 土 6 日 14:00	演目 『リリウム-回転木馬』プロローグ付全7場 振付 ジョン・ノイマイヤー 出演 リリウム:カーステン・ユング ジュリー:アリーナ・コジョカル 演奏 北ドイツ放送協会ビッグバンド、 及び特別録音による音源を使用 料金 S23,000 A20,000 B17,000 C14,000 D11,000 E8,000 問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888	
8 火 9 水 18:30	ジョン・ノイマイヤー「京都賞」受賞記念 ハンブルク・バレエ団 2016年日本公演 ガラ公演(ジョン・ノイマイヤーの世界)	
11 金 18:30	ジョン・ノイマイヤー「京都賞」受賞記念 ハンブルク・バレエ団 2016年日本公演『真夏の夜の夢』	
12 土 13 日 14:00	演目 『真夏の夜の夢』プロローグ付全2幕 振付 ジョン・ノイマイヤー 出演 (11日) ヒッポリータ/タイターニア:エレヌ・ブシェ シーシアス/オベロン:エドウィン・レヴァツォフ (12日) ヒッポリータ/タイターニア:アリーナ・コジョカル シーシアス/オベロン:カーステン・ユング (13日) ヒッポリータ/タイターニア:エレヌ・ブシェ シーシアス/オベロン:エドウィン・レヴァツォフ 演奏 東京シティ・フィルハーモニック管絃楽団 料金 S23,000 A20,000 B17,000 C14,000 D11,000 E8,000 問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888	
14 月 19:00	都民劇場音楽サークル第635回定期公演 クリスティアーネ・カルク ソプラノ・リサイタル	
15 火 19:00	警視庁音楽隊 グランドコンサート	

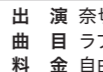
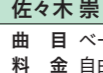
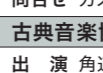
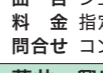
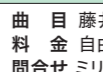
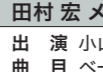
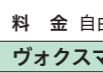
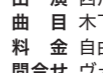
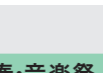
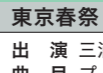
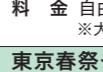
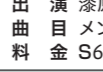
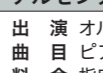
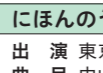
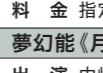
休館日:28(月)・30(水)

16 水 19:00	東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2016- リッカルド・ムーティ指揮 日伊国交樹立150周年記念オーケストラ	
19 土 20 日・祝 13:30 18:00	2016都民芸術フェスティバル参加公演 日本バレエ協会『眠れる森の美女』	
21 月・祝 14:00	都民交響楽団 第121回定期演奏会	
22 火 19:00	ロビー・ラカトシュ&ラカトシュ・アンサンブル	
24 木 27 日 14:00	オペラ『夕鶴』2016年	
29 火 19:00	東京都交響楽団 第803回定期演奏会 Aシリーズ	

小ホール

1 火 19:00	小林五月ピアノリサイタル シューマンチクルス+Plus Vol.9	
2 水 18:30	東京レディース・アンサンブル 第3回演奏会 -18年の歩み-	
3 木 11:00 19:00	東京文化会館 モーニングコンサート Vol.93 主催公演 P12参照	
4 金 19:00	世界の名曲コンサート ~歌は世界をつなぐ~	
5 土 14:00 19:00	新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズ TOKYO50 市川 徹 クラリネットリサイタル	
6 日 14:00	アンサンブル コルディエ 定期演奏会 Vol.42	
7 月 18:45	日本モーツァルト協会 第577回例会 ~ピアノ協奏曲の輝き~	
8 火 19:00	相原千興 ヴァイオリンリサイタル	
9 水 19:00	第34回 東京クラリネットフィルハーモニー定期演奏会	
10 木 19:00	2016都民芸術フェスティバル参加公演 日本の歌シリーズ No.2	
11 金 18:30	~東北復興支援チャリティコンサート~ Love letter	
12 土 13:30	第39回 職員合唱祭	
13 日 14:00	下野昇 テノールリサイタル 傘寿記念~日本の抒情を歌う~	

休館日:28日(月)

14 月 19:00	第14回 奈切敏郎 チェロリサイタル	
15 火 19:00	佐々木崇 ピアノリサイタル2016	
17 木 19:00	古典音楽協会 第152回定期演奏会	
18 金 19:00	藤井一興ピアノリサイタル ウィーン⇄パリ⇄東京 時の巡りあわせ	
21 月・祝 14:00	田村宏 メモリアルコンサート	
31 木 19:00	ヴォクスマーナ第34回定期演奏会	
19 土 11:00	東京春祭 for kids 音楽物語《ぞうのババール》	
20 日・祝 15:00	東京春祭チェンバー・オーケストラ《室内楽特別コンサート》	
22 火 18:30	アルゼンチン・タンゴの夕べ	
23 水 14:00	にほんのうたVI ~東京オペラシンガーズ	
24 木 19:00	夢幻能《月に憑かれたピエロ》	
25 金 19:00	東京春祭 歌曲シリーズ vol.17 タラ・エロート(Ms)	
27 日 15:00	《24の前奏曲》シリーズ vol.5 レーラ・アウエルバッハ(Pf)	
29 火 19:00	シェイクスピアと音楽 -没後400年によせて	
30 水 19:00	東京春祭のStravinsky Vol.5 ストラヴィンスキーの室内楽	

問合せ 東京・春・音楽実行委員会 03-5205-6497

音楽資料室では、クラシック音楽を中心に、民族音楽、邦楽、舞踊などの資料を多数所蔵しています。ほとんどが書庫に保管されていますが、一部の図書と新着雑誌は自由に閲覧できます。調査・研究のためのご利用はもちろんのこと、コンサート前の空き時間などにも気軽にお立ち寄りください。何気なく手に取った本の中に、思いがけない発見があるかもしれません。

※音楽資料室は東京文化会館4階にあります。ご来室の際は、エントランスロビー奥のエレベーターをご利用ください。



書庫に保管されている資料も、すべて音楽資料室内で閲覧が可能です。今回は雑誌のバックナンバーから、「レコード芸術」「トランソニック」「スイングジャーナル」の3誌をご紹介します。現在も刊行中のもの、すでに休刊してしまったものなどさまざまですが、どの雑誌にもそのときどきの時代の空気が閉じ込められています。ぜひ、実際に手に取ってページをめくってみてください。



Record Geijutsu



レコード芸術 (音楽之友社)

現在も刊行中のレコード批評を中心とした音楽雑誌。毎月愛読して音楽選びの参考にされている方、毎年の「レコード・アカデミー賞」の発表を楽しみにいらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。音楽資料室では、1952年発行の創刊号からすべて所蔵しています。

tranSonic



トランソニック (全音楽譜出版社)

1973年から1976年の間、季刊で発行された「作曲家の理論と実践のための雑誌」(1号「創刊のことば」より)。1号から12号まですべて所蔵しています。「記号・かたち・楽譜」「脱コンサート」など、毎月さまざまな特集が組まれていました。執筆陣も、高橋悠治、一柳慧、柴田南雄など、そうそうたるメンバー。当時の現代音楽の状況を知ることができる、たいへん貴重な資料です。

Swing Journal



スイングジャーナル (スイングジャーナル社)

クラシック音楽関係の資料を中心に収集している音楽資料室ですが、ジャズに関する資料もございます。ジャズ専門誌「スイングジャーナル」も、そのひとつ。2010年7月号をもって休刊するまでの間、毎月充実した内容を読者に届けていました。音楽資料室では、1962年6月号から所蔵しています。

TOPICS

校外学習の一環で、千葉大学教育学部附属中学校の皆さんが来室されました。興味ある音楽家について調べたり、映像を見たりと、それぞれ熱心に取り組んでいました。中でも人気だったのはレコード鑑賞。初めて聴いた方も多かったのではないのでしょうか。若い方たちがこれからも音楽を愛し、東京文化会館や音楽資料室へ訪れてもらいたいと願った一日でした。



目録カードで検索中

視聴室でレコード鑑賞

音楽資料室ご案内

東京文化会館4Fには、音楽資料室があります。楽譜、CD・LP、映像、図書など、クラシック音楽を中心とした資料の閲覧・視聴ができます。初回は、お名前、住所を確認できるものをお持ちください。電話での資料に関するご質問にもお答えしております。(電話受付時間:祝日を除く開室日の火~土曜 9~17時) インターネットでも所蔵資料を検索することができます。(http://t-bunka.opac.jp/)

TEL ▶ 03-3828-2111(代表)
URL ▶ <http://www.t-bunka.jp/library/>
*コピーサービスを除き、料金は必要ありません。

開室時間

火曜~土曜 13時~20時 (コピー受付 18時30分まで)
日曜・祝日 13時~17時 (コピー受付 16時まで)
*開室時間は変更になる可能性があります。ホームページや電話でご確認ください。

休室日

・毎週月曜
・保守日等(12月22日、1月19-21日、2月23-24日、3月22-23-29-30日)
・年末年始(12月28日-1月4日)
詳しくは、ホームページのカレンダーや電話等でご確認ください。

都響ニュース vol.38

東京文化会館から上質の音楽を発信!

東京都交響楽団

音楽監督:大野和士 終身名誉指揮者:小泉和裕
桂冠指揮者:エリアフ・インバル 首席客演指揮者:ヤクブ・フルシャ

2016年度会員券 12/4(金) 発売開始!

東京都交響楽団は2016年度も、優れた指揮者とソリストたちの持ち味が生きる、古典的名曲と近現代の傑作による多彩なプログラムを展開します。東京文化会館で行う定期演奏会Aシリーズは、音楽監督・大野和士をはじめ、フランソワ=グザヴィエ・ロト、秋山和

慶、エリアフ・インバル、ヤクブ・フルシャ、小泉和裕を指揮台に迎え、聴きごたえのあるシンフォニー・コンサートをお届けします。ぜひ、お得な会員券でお楽しみください。2016年度もみなさまのご来場を心よりお待ちしております。

2016年度定期演奏会Aシリーズ 各回19時開演 東京文化会館

第805回 2016年4月12日(火) | 1回券:1月頃発売

指揮/フランソワ=グザヴィエ・ロト
ストラヴィンスキー:バレエ音楽《ペトルーシュカ》(1911年版)
ストラヴィンスキー:バレエ音楽《火の鳥》(1910年版)

第808回 2016年5月30日(月) | 1回券:1月頃発売

指揮/秋山和慶
ピアノ/エリック・ル・サージュ
ヒンデミット:金管と弦楽のための協奏音楽 op.50
モーツァルト:ピアノ協奏曲第24番 ハ短調 K.491
R. シュトラウス:歌劇『ばらの騎士』組曲



第809回 2016年6月8日(水) | 1回券:1月頃発売

指揮/大野和士
テノール/イアン・ボストリッジ*
ブリテン:歌劇『ピーター・グライムズ』より「4つの海の間奏曲」op.33a
ブリテン:イリュミナシオン op.18*
ドビュッシー:《夜想曲》より「雲」「祭」
スクリャービン:法悦の詩 op.54(交響曲第4番)



第814回 2016年9月15日(木) | 1回券:3月頃発売

インバル80歳記念
都響デビュー25周年記念
指揮/エリアフ・インバル
ピアノ/アンナ・ヴィニツカヤ
グリンカ:歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第2番 ト短調 op.16
バルトーク:管弦楽のための協奏曲 Sz.116



第819回 2016年11月28日(月) | 1回券:7月頃発売

指揮/大野和士
ピアノ/ピエール=ロラン・エマール
ソプラノ/天羽明恵
ベルク:アルテンベルク歌曲集 op.4
ラヴェル:左手のためのピアノ協奏曲 二長調
マーラー:交響曲第4番 ト長調



第822回 2016年12月19日(月) | 1回券:7月頃発売

指揮/ヤクブ・フルシャ
マルティヌー:交響曲第5番 H.310
ショスタコーヴィチ:交響曲第10番 ホ短調 op.93



第824回 2017年1月23日(月) | 1回券:9月頃発売

指揮/小泉和裕
ヴァイオリン/ヨシフ・イワノフ
チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35
グラズノフ:交響曲第5番 変ロ長調 op.55 ほか



第827回 2017年3月21日(火) | 1回券:9月頃発売

指揮/大野和士
ピアノ/ニコライ・ルガンスキー
ブラームス:ピアノ協奏曲第1番 二短調 op.15
ブラームス:交響曲第4番 ホ短調 op.98



TICKET 一定期演奏会Aシリーズ 会員券料金一	S席	A席	B席	C席	Ex席
2016年度会員券(全8公演) 12/4(金)発売	35,000	30,000	25,000	20,000	14,400

TICKET 一定期演奏会Aシリーズ 1回券料金一	S席	A席	B席	C席	Ex席
第809回・第814回・第819回・第827回	7,500	6,500	5,500	4,500	2,800
第805回・第808回・第822回・第824回	6,500	5,500	4,500	3,500	1,800

◎シルバーエイジ(65歳以上)、U25(25歳以下)、割引等あり。詳しくはお問合せください。

ご予約と
お問合せ

都響ガイド 03-3822-0727 <http://www.tmso.or.jp> (ホームページからも予約できます)

〒110-0007 東京都台東区上野公園5-45 東京文化会館1階(月~金 10時~18時/土日祝休み ※主催公演開催日等は営業時間が変更となります。)

vol. 61 会館からのお知らせ

東京文化会館友の会のご案内

東京文化会館では当館をもっと楽しみたい舞台芸術ファンのため、友の会を運営しております。当館指定公演の先行発売・割引チケット・招待公演の抽選等、さまざまな特典を毎月ご案内しております。多くの皆様のご入会を心よりお待ちしております。

お問合せ

東京文化会館友の会事務局
03-3828-1696 (平日9:00~17:00 土日祝休み)
<http://www.t-bunka.jp/wawa/>

vol.61 音脈 表紙について

今号の表紙では、東京文化会館小ホールの写真を中心にコラージュしました。音響板として舞台に据えられている銀色の「昇り屏風」、コンクリートの壁が彫刻のように凸凹している音響拡散体は彫刻家 流政之氏によるものです。建築家 前川國男氏は、モダニズム建築の巨匠、ル・コルビュジェに師事。東京文化会館では、建築と芸術を融合させるという考えに基づき、建築と彫刻家の作品を共存させました。また、小ホールの開始ベルでは、サヌカイトの音を用いています。小ホールのホワイエには、1350年前の岩石 サヌカイトを飾っていますので、ぜひご覧ください。

和の小物ショップ 匠音(タクト)

匠音

音と匠の技で息を吹き込む
こだわりの和の小物ショップ『匠音(タクト)』が誕生。
日本伝統のオリジナル手作り商品をお届けします。



■ 印伝 ガマ口
4,860円(税込)
■ 印伝 札入れ
7,020円(税込)
■ 手拭い
1,080円(税込)~

お問合せ 営業時間 / 11:00~19:00 TEL:03-3822-8006

立ちどまらない保険。
MS&AD あいおいニッセイ同和損保



優しくするには強くならなきゃ。
あなたをさまざまなリスクから守るために、
自動車保険、火災保険、ケガの保険、
いろんな保険を、ひとつのシリーズで。
わかりやすくて頼りになる保険です。



タフな安心を、あなたに。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
公務部営業第二課

〒103-8250
東京都中央区日本橋 3-5-19
TEL:03-6734-9985

<http://www.aioinissaydowa.co.jp/>

Restaurant Forestier

レストラン フォレスティエユ 精養軒



Luxury Modern

ラグジュアリー・モダン

劇場の余韻に浸る空間



TEL 03-3821-9151

(東京文化会館 2階)

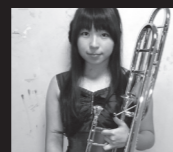
<http://www.seiyoken.co.jp>

心地よい奏と
心温まる
ひととき。



日本三名泉の
ひとつ
有馬で憩う

日本最古の温泉地に、クラシック界期待のアーティスト!
Special concert



“2015年
クラシックミニコンサート”への
たくさんのご来場
ありがとうございました。
2016年は、
3月以降開催の予定です。
みなさまのお越しを
心よりお待ちしております。

Thank you,
everyone!
Hope to see you soon.

有馬グランドホテル

<http://www.arima-gh.jp/>

神戸中心部から好アクセス!

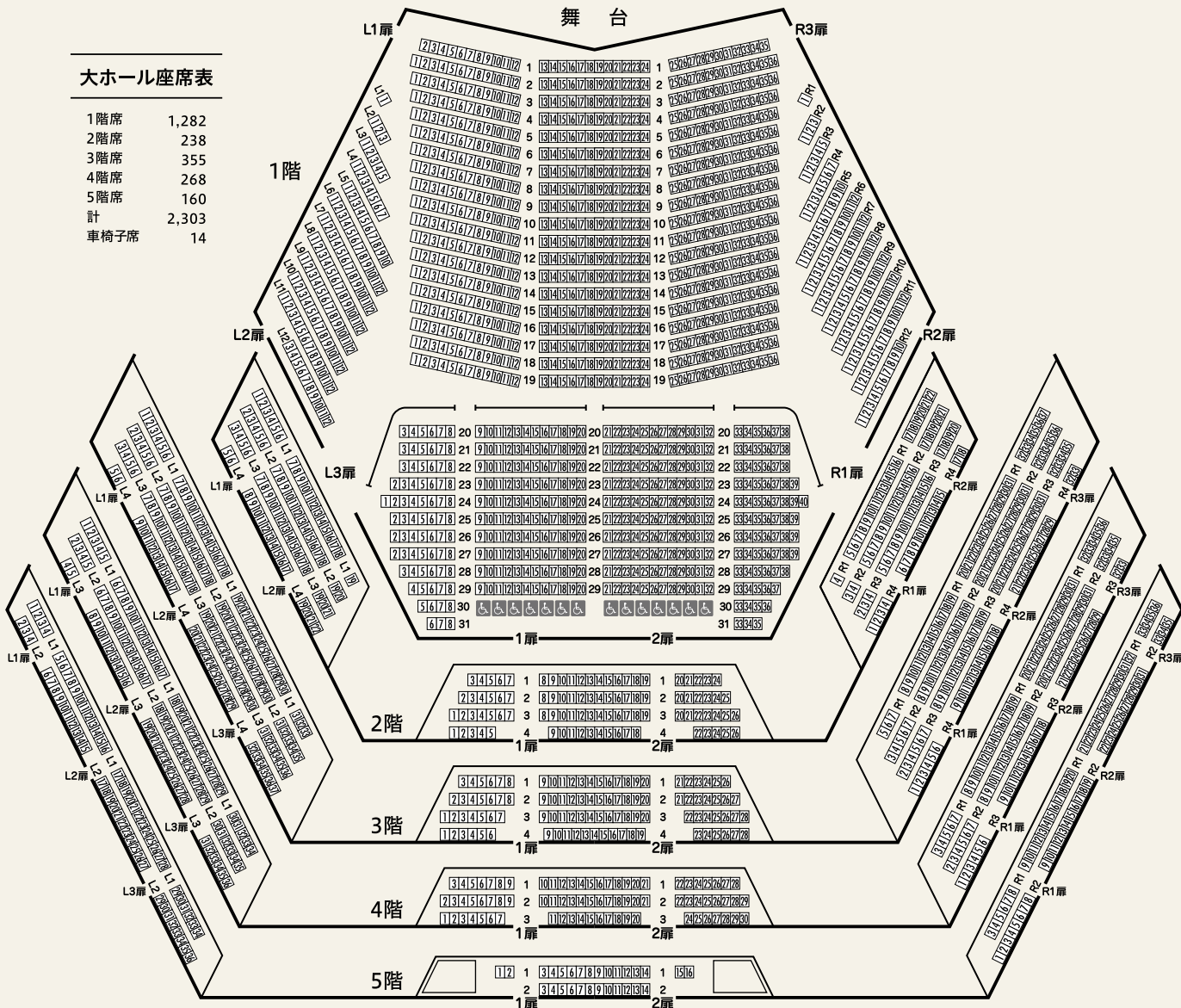
新神戸駅から車、電車で約30分

tel. 078-903-5489 兵庫県神戸市北区有馬町 1304-1



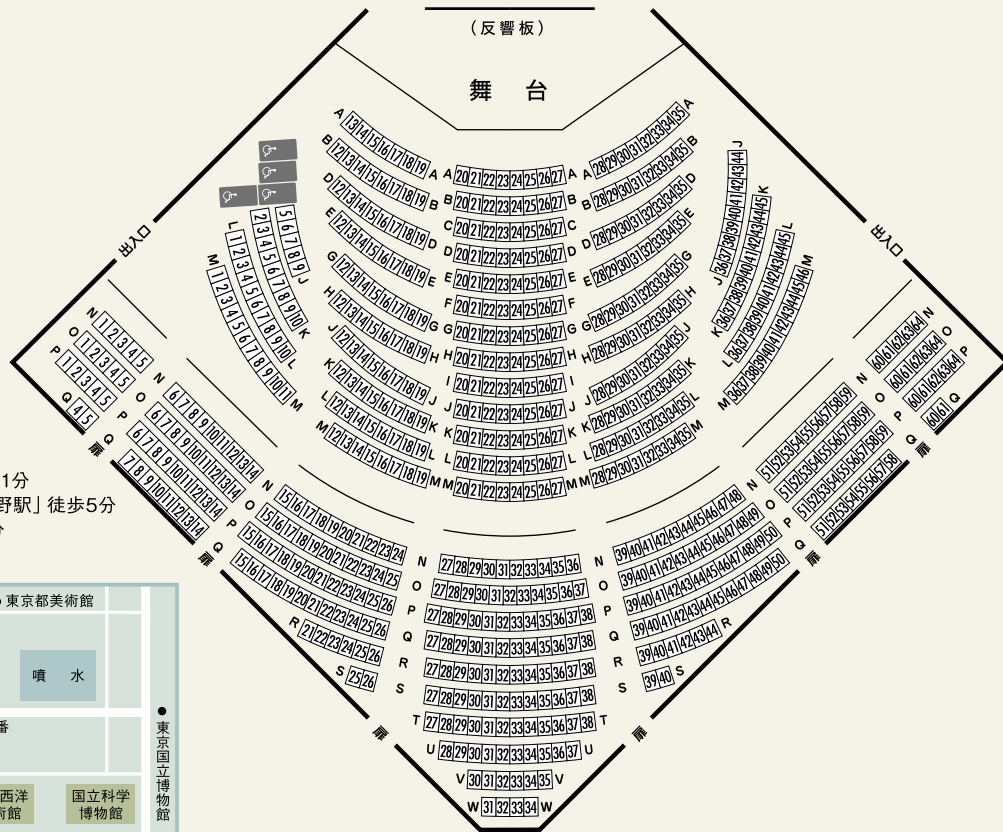
大ホール座席表

1階席	1,282
2階席	238
3階席	355
4階席	268
5階席	160
計	2,303
車椅子席	14



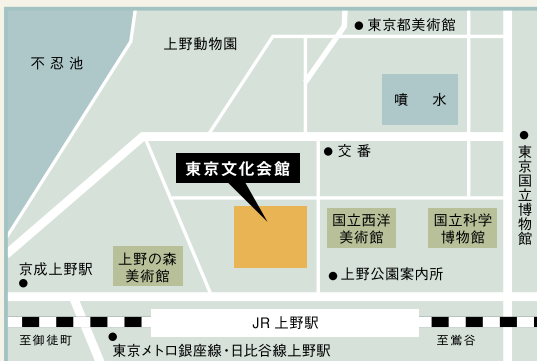
小ホール座席表

下段席	338
上段席	311
計	649
車椅子席	4



Access

- JR線 「上野駅」公園口 徒歩1分
 - 東京メトロ 銀座線・日比谷線「上野駅」徒歩5分
 - 京成線 「京成上野駅」徒歩7分
- ※当館には駐車場はございません。



※ホールにはエレベーター、エスカレーターはございません。
あらかじめご了承ください。